

昭和34年7月27日第三種郵便物認可 毎月1回1日発行
令和3年10月25日印刷 令和3年11月1日発行 第63巻第11号 通巻第744号

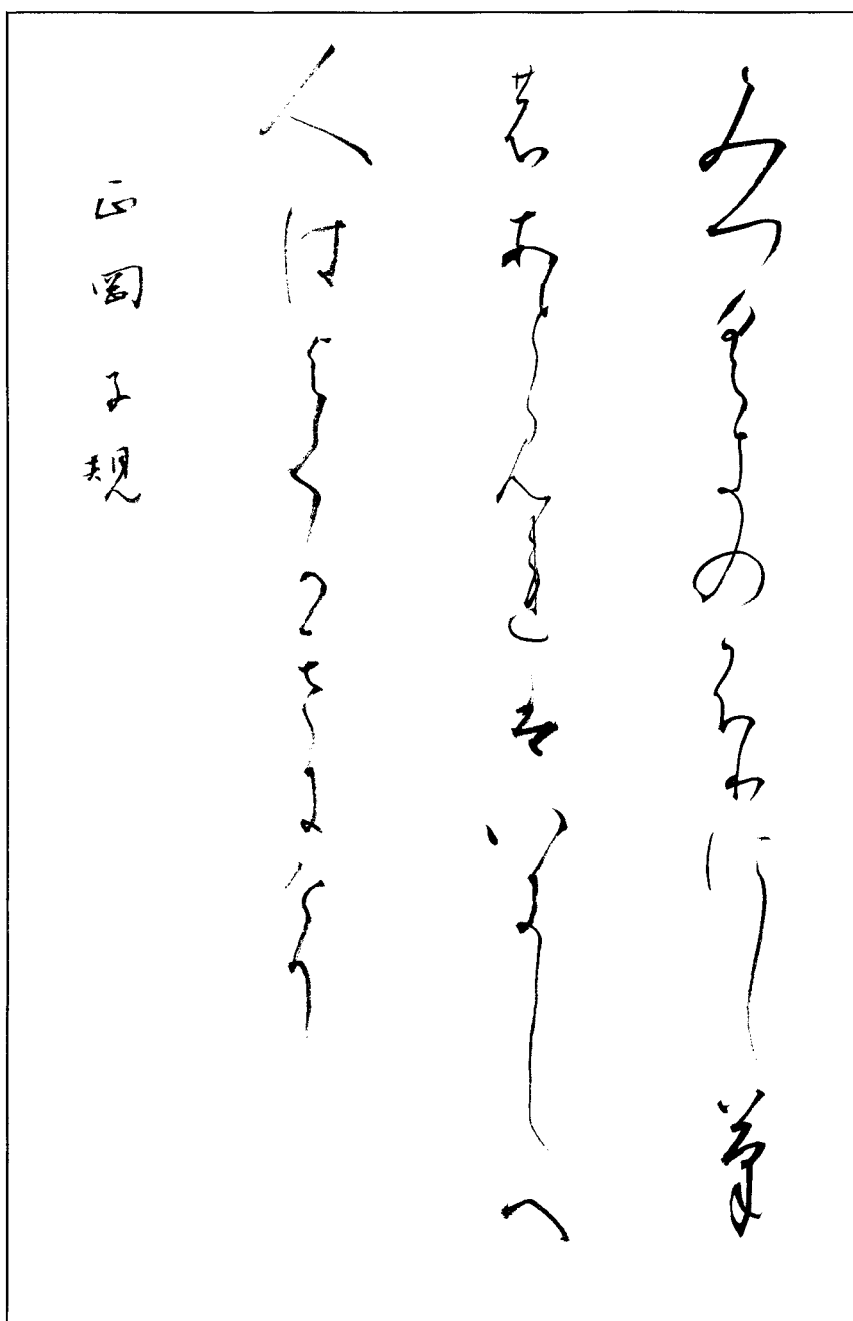
ちから ぺんの力

美しい文字・個性的な書



令和三年度第2回昇格・昇段試験成績発表
第35回不二現代書展要項発表

※左の『手ならひ帖』の「みつ具支の」から「正岡子規」までをペンで臨書しなさい。



(参考手本は次ページ)

〈原文〉

みつ具支の 不利にし筆農

あと見連盤

い尔しへ人は 与久可き尔介

り 正岡子規

〈読み〉

水茎みづくきの ふりにし筆の あと

見れば

いにしへ人は よく書きにけ

り 正岡子規

〈大意〉

長い世を経た筆跡を見ると昔の人は達筆だったのだなあと、しみじみ思われる。

〈出典〉

鷹見芝香書

『手ならひ帖 永日編』より

(つけペン)

ふきふきふきふき

芳林集

人
は
こ
の
と
を
し

心圖子規

※バーコード出品券と月別出品券①の2枚を貼って出品してください。

変体がなも同じ文字でも

いろいろな書きぶりがあ
り、調和よくとり入れな
いと浮いてしまう場合も
ある。くり返し書き自分
のものとして流れよく書
けるようにしていきたい。

「芝香のことば」より

人子

あ
と
ん
じ
じ

この形を念頭に
ゆつくりと丁寧が続ける

ゆつくりと

含む (可)

介
介

専攻コース

規定課題

(五段〜初段)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書

(つけペン)

誰をか恥ぢ、誰にか知られん事を願はん。譽はまた毀の本なり。身の後の名、残りてさらに益なり。これを願ふも、次に愚かなり。

願はん 譽はまた毀の本なり

身の後の名残りてさらに益なり

これを願ふも次に愚かなり

〈読み〉

誰をか恥ぢ、誰にか知られん事を願はん。譽はまた毀の本なり。身の後の名、残りてさらに益なし。これを願ふも、次に愚かなり。

〈作者〉兼好法師

(二二八四〜一三五〇)

〈出典〉『徒然草』三十八段

〈大意〉

(名譽を) 誰に対して恥ずかしく思い、誰に認められたいと願うのだろうか。名譽は誹謗の原因でもある。死んだ後に名譽名聲が残っても何にもならない。名譽を求めようとするのは、高位高官を求めることの次に愚かなことである。

〈解説〉

筆写体が多くありますから活用してみよう。

旧字体	筆写体	常用体
	恥恥	恥
	事	事
	願願	願
譽	譽	誉
	毀毀	毀
	後後	後
殘	殘	残
	益益	益
	愚	愚

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン

(ボールペンは不可)、インクは黒色

用紙 べんの力用紙A型(B型可)

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

専攻コース

規定課題

(1級～5級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

堀津 節子 書

(つけペン)

秋のひかり地にしみと

ほり白き菊痩せて

清らに咲きいでかな

〈読み〉 秋のひかり地にしみとほり白き菊痩せて清らに咲きいでしかな

〈作者〉 窪田 空穂(二八七七～一九六七)

〈大意〉 秋のやわらかな光を十分に浴びて、白

い菊がほっそりと清らかに咲いている。

〈解説〉 漢字10の大きさに対しかなは8、少し小

さめに書きますが、漢字でも「白」など

画数の少ない文字はかなと同じ位小さめに。漢字も画数の多い文字は大きめに書

く場合も多くあります。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン(ボールペンは不可)、インクは黒色

用紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

(いろいろな書きぶり)

秋 秋 秋 瘦 瘦 瘦 清 清 清 清
地 地 地 菊 菊 菊 咲 咲 咲 咲

〈連綿の注意点〉

※ ※

上の文字の収筆から※印まで一文字のように続ける

福原 溪春 書

(つけペン)

《原文》 兩水夾明鏡 雙橋落彩虹

《読み》 兩水明鏡を夾み雙橋彩虹を落とす

《作者》 李白(七〇一〜七六二)

《大意》 町をはさんで流れる二つの川が、夕日に映えて明るい鏡のようにキラキラ光る。川にかかる二つの橋は、七色の虹が水の上に落ちかかっているようだ。

《解説》 ○行書では、一文字の筆脈と同時に一行の筆脈

も大切です。そのためには、次の文字の一直目まで続けて書きます。

○行の中心を通して伸びやかに書きましよう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン(ボールペンは不可)、インクは黒色
用紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

〈解説〉

雙 兩 旧字体

橋 水 筆写体

落 夾 1 2 3 4 5 6

彩 明 焦点 段々起して (角度の 変化) 仰 伏

虹 鏡

雙 兩 止める

橋 水 止める

落 夾 止める

彩 明 止める

虹 鏡 止める

雙 兩 筆写体

橋 水 筆写体

落 夾 筆写体

彩 明 筆写体

虹 鏡 筆写体

基礎コース

規定課題

(五段く初段)

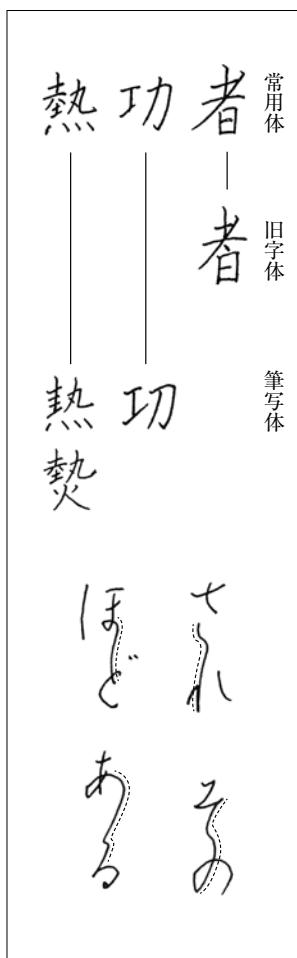
※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

宮田 須美子 書

(デスクペン)

世に成功熱に浮かされ、野猪的に進む者が多いが、その多く失敗に終るは、身のほどを知らぬからである。

〈解説〉



〈読み〉 世に成功熱に浮かされ、野猪的に進む者が多いが、その多く失敗に終るは、身のほどを知らぬからである。

〈出典〉 『洪沢栄一訓言集』 道徳と功利より

〈解説〉 行書は続けすぎないように書き、連綿は上の字から続けてなめらかに書きます。急ぎすぎないように丁寧に書きましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、

ボールペンも可 インクは黒色

用紙 ペンの力用紙3行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

基礎コース

規定課題

(1級～5級)

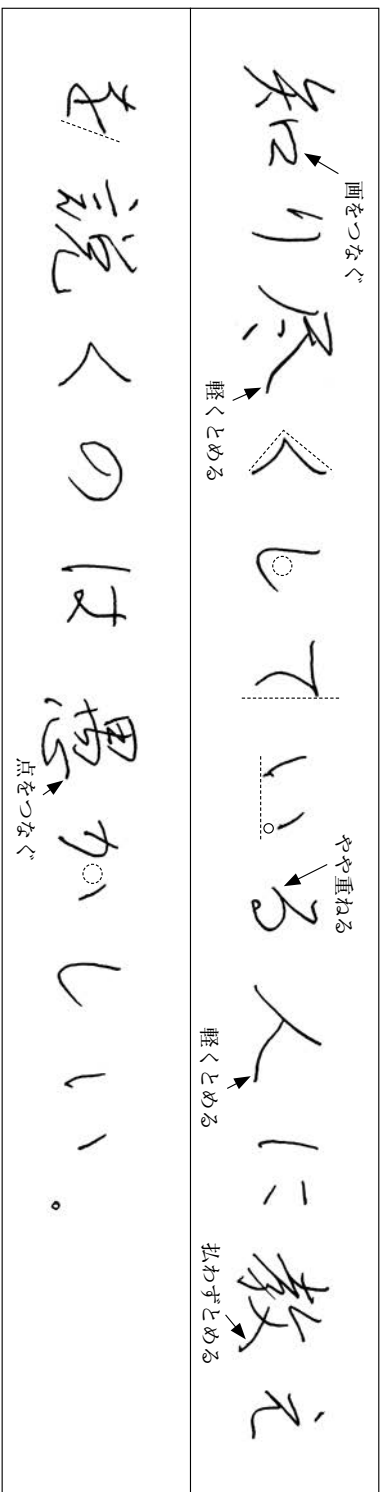
※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書 (デスクペン)

知り尽くしている人に教え
を説くのは愚かしい。

↑ここに貼る↑

月別・バーコード券



《読み》 知り尽くしている人に教えを説くのは愚かしい。《出典》 ことわざ (釈迦に説法)

《解説》 行の中心曲がらないよう罫の中心に文字のヨコ中心を合わせていきましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペンも可 インクは黒色 用紙 ペンの力用紙2行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

基礎コース

規定課題

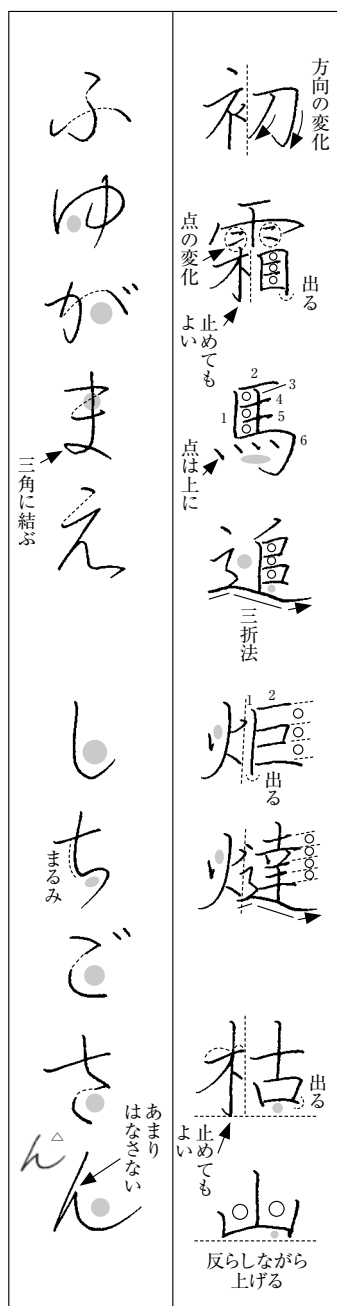
(6級～10級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪春 書 (つけペン)

初霜馬追炬燵枯山
ふゆがまえしちごさん

〈解説〉



〈読み〉 〈出典〉 〈解説〉

初霜 馬追 炬燵 枯山
ふゆがまえ しちごさん
『最新俳句歳時記』
漢字は結体の中心を意識して、点画の長短・方向に留意してください、平がなは滑らかな運筆を目指しましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、
ボールペンも可 インクは黒色
用紙 ペンの力用紙2行書き
※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

随意課題

写経研究室 基礎・専攻コース（全員）

草刈北望先生書

摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識之復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中无色无受想行識无眼
耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至
无意識界无无明之无无明盡乃至无老死
之无老死盡无苦集滅道无智之无得以无
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢

〈読み〉

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩 行深般若波羅蜜多時 照見五蘊皆空
度一切苦厄 舍利子 色不異空 空不異色 色即是
空 空即是色 受想行識 亦復如是 舍利子 是諸
法空相 不生不滅 不垢不淨 不增不減 是故空中
无色 无受想行識 无眼耳鼻舌身意 无色聲香味觸
法 无眼界 乃至无意識界 无无明 亦无无明盡
乃至无老死 亦无老死盡 无苦集滅道 无智亦无得
以无所得故 菩提薩埵 依般若波羅蜜多故 心无罣
礙 无罣礙故 无有恐怖 遠離一切顛倒夢想 究竟
涅槃 三世諸佛 依般若波羅蜜多故 得阿耨多羅三
藐三菩提 故知般若波羅蜜多 是大神呪 是大明呪
是无上呪 是无等等呪 能除一切苦 真實不虛 故
說般若波羅蜜多呪 即說呪曰
揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦 菩提薩婆訶
般若心經

*バーコード出品券と月別出品券Bを作品の左下に
貼って出品して下さい。

のりしろ 出品する題名に○をつけて下さい。 中高級・一般版・ 上級版	
書学 神田 太郎	
部 門	写 経
現段(赤で書く)	現級(黒で書く)
段	級
本特の中のみ記入 1 現在の段級を正確に記入して、作品の左下にのりづけして下さい。	
 0 003300 100005	

想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜
多是大神呪是大明呪是無上呪是無等等
呪能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜
多呪即說呪曰
揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦 菩提沙婆訶

般若心經

奉為二百萬卷寫經發願成就

為
(お願いごとをお書きください)

住所

氏名

右の「般若心經」か次ページの「延命十句観音經」のどちらかを選んで清書し出品してください。

■用紙

「般若心經」「延命十句観音經」用紙は三多軒で用意
しております。

*注文先…三多軒 (03-3265-5493)

「オンラインストア」 www.santaken.com

■用具

つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペン、
インクは黒色

■送り先

〒101-8358 東京都千代田区西神田二丁目三
公益財団法人日本書道教育学会「写経事務局」宛

□納経について

納経をご希望の方は一巻につき五〇〇円を郵便振替で
(払込人住所氏名欄にバーコードの左から8桁の番号
をご記入ください) ご入金の上、「振替払込請求書兼
受領証」を写経作品に添えてお送り下さい。

□お問い合わせ 03-3234-3919

□振替 口座番号 00140-11635923

加入者名 (財)日本書道教育学会 写経事務局

きりと

納経連絡用紙

公益財団法人日本書道教育学会
二百萬卷写経実践推進委員会事務局

住 所	納経者氏名	ふりがな
〒 □□□□□□□□		ふりがな
電話番号 () () ()	雅 号	

※初めて納経される方は、お写経を添えて一緒に写経事務局にお送りください。
芳名録の作成に使用させていただきますので、ご協力下さい。

随意課題

写経研究室 基礎・専攻コース（全員）

左の「延命十句観音經」が前ページの「般若心經」のどちらかを選んで清書し出品してください。

草薙北望先生書

 百萬卷寫經發願成就 住 所 東京都千代田区西神田二二三 氏 名 山本太郎敬寫		延命十句観音經 觀世音南無佛与佛有因与佛 有縁佛法僧縁常樂我淨朝念 觀世音暮念觀世音念念從心 起念念不離心
---	--	---

※納經のしかた、用紙用具については前ページと同じです。

※バーコード出品券と月別出品券⑧の2枚を貼って出品してください。

〈読み〉

延命十句観音經

観世音 南無佛 与佛有因 与佛有縁

佛法僧縁 常樂我淨

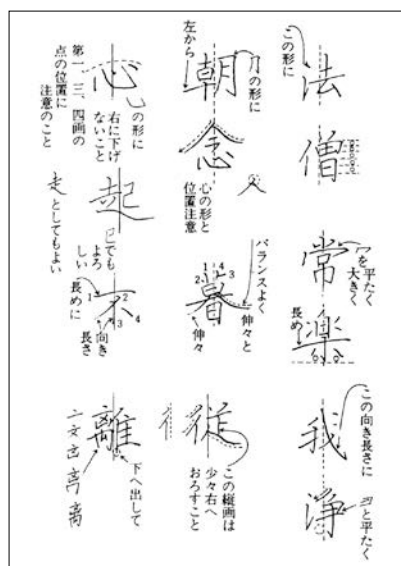
朝念観世音 暮念観世音 念念從心起

念念不離心

〈大意〉

観世音 仏に南無したてまつる 仏と因あり 仏と縁あり 仏と法と僧との縁によつて 常・樂・我・淨の四徳を得ん

朝な朝なに観世音を念じ夕な夕なに観世音を念じ 念々、心より起こり 念々、心を離れず。



法僧 常樂 我淨

朝念 暮念 念念不離心

心 起 不離 從

左の「延命十句観音經」が前ページの「般若心經」のどちらかを選んで清書し出品してください。

随意課題

つけペン

専攻コース（1級～10級）
基礎コース（全員）

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。
用紙を縦にして縦書きとしてください。

堀津節子書

〈読み〉

南天をこぼさぬ霜の静かさよ

〈作者〉

正岡子規

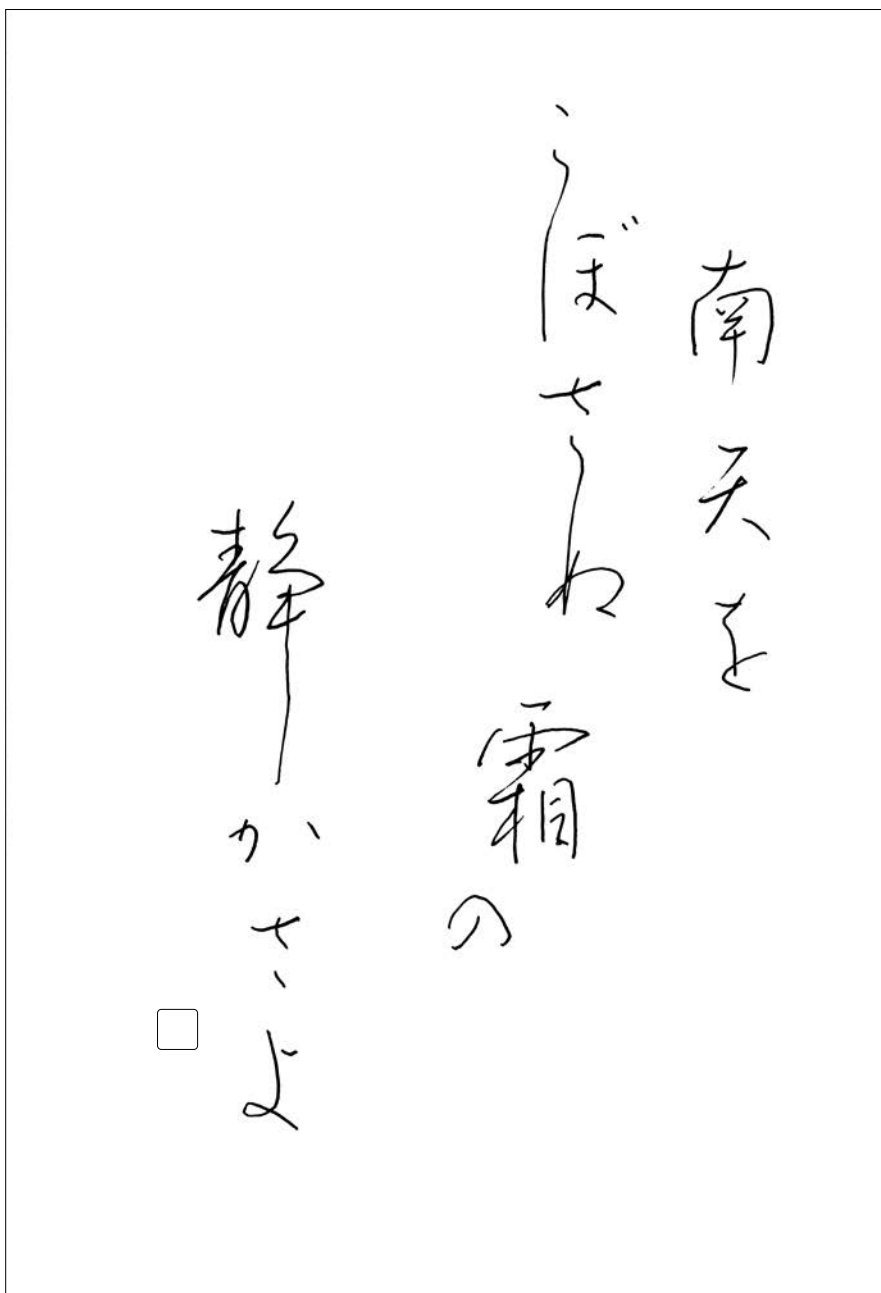
（一八六七～一九〇二）

〈大意〉

南天の赤い実がこぼれ落ちないよう配慮しているかのように、静かに霜が降りて冷え込んできた。

〈解説〉

南天はかなと同化するよう小さなめに、霜、静は画数も多く大きめに、隣りあわないようにまとめる。



※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。

※バーコード出品券と月別出品券©の2枚を貼って出品してください。

用具

つけペン、万年筆またはデスクペン
インクは黒色

用紙

べんの力用紙A型

専攻コース（1級～10級）・基礎コース（全員）

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

小 島 鳳 治 書
(毛筆タイプ)

栄養講座 家事場のパパ&ママから
～ 離乳食づくり編 ～
男子厨房に入ろう！乳児から大人、介護食まで
応用できる食事を作ります
日時 十一月三日（祝・水）午後一～三時
会場 みらい福祉センター調理室
対象 市内在住の家族に妊婦または
乳児のいる男性（先着十名）
申込み 上越市健康推進課（五二六―八三七四）

教室名	段 級	氏名	姓
-----	-----	----	---

〔解説〕

○火事場と家事場を掛けているタイトルです。○下にある「木」は「ホ」と書くとき明らくなります。（栄、課）。○一文字の中

用具

筆ペン（毛筆タイプ） インクは黒色

用紙

B4判（タテ36・4cm・ヨコ25・7cm）を縦長にする。下欄の不二教室名・段級・氏名のわくは、A型用紙のものを貼るか、

筆ペン用紙をお求めください。

（作品には不二教室名・段級・氏名を必ず明記してください。）

※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。

※バーコード出品券と月別出品券②の2枚を貼って出品してください。

専攻コース（１級～10級）・基礎コース（全員）

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。
※ハーコート出品券と月別出品券⑤の２枚を貼って出品してください。

郵便はがき

0850051



釧路市光陽町三五〇
浪米美様
北見市寿町七一〇一四
渡賀継代

090 0065

このたびはお孫様へ誕生のこと
によりお喜び申し上げます
新たなご家族の一員が増えて
賑やかになってしよう 今後ますます
ご多幸をお祈りしております
まずは取り急ぎお祝いです

（読み）このたびはお孫様へ誕生のこと 心よりお喜び申し上げます 新たなご家族の一員が増えて賑やかなのでしよう 今後ますますのご多幸をお祈りしております まずは取り急ぎお祝いまで
（解説）仮名の多い課題です。平仮名の概形や、その文字の適正な大きさを誤ると不自然な印象になり、読みにくくなります。「と」「ま」「こ」は小さく書きましょう。○「誕」「後」「多」「取」は筆写体です。

用具 油性ボールペン（水性でもゲルインクでも良い） インクは黒色 用紙 ぺんの力用紙C型

ボールペン（横書き）

普通なら日常の文字を、きれいに、速く、しっかり書けるようになりたいのが望みである。道を歩けば必ず前へ進む。多少の遅い速いはあっても、書もまた、習えば必ず上達する。むしろ遅いくらいの方が大成する。習っている間に磨きがかかり、天分が輝いてくるのである。

↑ここに貼る↑

『犀水書話』36ページより

月別・バーコード券

つけペン（和歌）

もみぢ葉の流れととまる水門には
紅深き波や立つらむ

筆ペン（掲示文）

くらしの講座

落語で笑って学ぼう！

人生笑顔で、笑ンディングノート

落語家でもある行政書士から、遺言相続について学びます。

日時 11月18日（木）午後3時～4時30分

会場 区役所8階会議室

講師 公文直樹氏

対象 区内在住・在勤・在学の方（先着20人）

申込み 荒川区消費生活センター

（TEL 5643-2178）

不 教 育				氏 名 欄					姓
-------------	--	--	--	-------------	--	--	--	--	---

※規定コースの段級を必ず記入してください。
記入のないものは段級不明となります。
※バーコード出品券と月別出品券①②の2枚を貼って出品してください。

〈大意〉もみぢ葉の流れて行き着く河口では、（もみぢ葉がたまって）紅色の濃い波が立っていることであろう。
〈作者〉素性法師

〈古今和歌集・巻第五 秋歌下 二九三〉

随意課題出品のきまり

つけペン（短歌）

課題

右ページの短歌を、自分の書きぶりで体裁よく書きなさい。（漢字・かなの書き換え自由・旧かなづかい使用のこと）

用具

つけペンまたは万年筆 デスクペン インクは黒色
用紙 ぺんの力用紙A型（B型も可）を縦に使用する。

ボールペン（横書き）

課題

右ページの文を横書きに、体裁よく書きなさい。（書体自由）

用具

ボールペン 油性・水性どちらでも可 インクは黒色

用紙

ぺんの力用紙A型（名前が左にくるように横にして書く。不二教室名、段、氏名は縦書きにする。）B型も可。

筆ペン（揭示文）

課題

右ページの揭示文を横書きに、文字の位置や大きさを考えて、体裁よく書きなさい。（漢字の書体は楷書または行書）

用具

筆ペン インクは黒色

用紙 ぺんの力筆ペン用紙、またはB4版（約36・4 cm × 約25・7 cm）を縦に使用。作品の下欄には、不二教室名・段・氏名を必ず明記すること。（そのわくは、A型用紙のものを貼ること）

◆十二月号課題予告◆

【専攻コース】

会友 六段

鷹見芝香書

手紙文より

五段 初段

智恵出でては偽あり。才能は煩惱の増長せるなり。傳へて聞き、學びて知るは、誠の智にあらず。いかなるをか智といふべき。

1級 5級

霜枯のまがきのもとに赤玉のかやくなして咲く冬牡丹

6級 10級

人煙寒橘柚秋色老梧桐

【基礎コース】

五段 初段

孝行は親がさしてくれて初めて子が出来るもので子が孝するのでは無く、親が子に孝をさせるのである。

1級 5級

噂が出るからには、なんらかの根拠があるはずだ。

6級 10級

冬田 年越 雪囲 白菜 ポインセチア としのせ

※課題は変更になることがあります。